

令和3年度 教職員自己評価アンケート〔前期〕 考察

南アルプス市立櫛形北小学校

はじめに

今年度より、小中一貫教育推進のための取組として、学校評価においても質問項目を統一して行い、1中学校4小学校が足並みを揃えて目指す児童生徒像の実現に向けた取組を行った。昨年度と質問項目が変更されているため、前年度との比較はあまり的確ではないと考え、今回は、一つ一つの数値によく着目しながら本校の成果や課題を考察してみることにした。

〔1〕 評価基準

全体傾向を把握するため、【A】【B】評価を肯定的評価とし、それらの合計が80%を超えている場合は『満足できる状態』と判断した。また、【C】【D】評価を否定的評価とし、それらの合計が20%を超えている場合は、『改善の余地がある状態』と判断した。

〔2〕 全体的な傾向

上記の評価基準からすると、【A】【B】の合計が80%を超えている項目は、21項目中20項目であり、その内、18項目で90%以上の肯定的評価であったのを鑑みると、全体的には良好な結果が得られていると言ってよい。特に「③あなたは、教職員間において報告・連絡・相談に努め、協力的な取組をしていますか。」は、全員が【A】評価であり、本校職員の協力体制を構築させようとする先生方一人一人の高い意識がうかがえる。また、【C】【D】の否定的評価に目を向けると、合計が20%を超えている項目が1つだけあった。これらを総合的に判断すると、全体的に良好な状況にあるといえることができる。

〔3〕 結果の考察

【学校経営・学校運営への参画】（項目①～⑦）に関わって

「⑥あなたは、校内研に主体的に関わっていますか。」（肯定率的評価87%）、「⑦あなたは、諸会議に積極的に参加していますか。」（肯定的評価93%）の2つの項目を除いて、肯定的評価が100%になっている。すべての項目が【A】【B】評価である結果を見ると、職員全員が、目指す学校教育目標の意味を一つ一つ確実に理解し、目標達成の実現に向かって取り組んでいる表れである。また、職員一人一人が各自の分掌や役割を十分に理解し業務に専念できているのは、校長を中心とした組織が十分に確立しているとも言える。しかし、【C】【D】評価があることにも注目したい。校内研への参画が不十分であるという結果が14%あった。これは研究テーマが「タブレット端末を活かした授業作り」であり、得手不得手、また職務内容と校内研の内容が直接結びつかないという理由などが考えられる。だが、組織として研究している以上、「何らかの形で児童に還元できるよ」という考えを大切にすれば、全ての職員が主体性を持って関わっていくことができると思う。

【学習指導】（項目⑧～⑪）に関わって

「ICT機器の活用」「読書活動の充実」「めあての提示」「評価の充実」の項目は、全て子ども達の学力向上に直接関わるとても重要なものである。全ての項目にて【A】【B】評価100%という結果を考えると、先生方は日々の授業実践をとても大切に考え、児童に基礎基本の確実な定着、そして、内容

の理解が深まるように努めていることが分かる。県でも推奨している「めあての提示」から「評価の充実」などの一連の学習の流れを記した“山梨スタンダード”は、どの学年でも導入され、児童自ら学びに向かう姿勢を育んだり、子ども達自身が学習の方法を身につけたりすることができるようになってきている。今後も継続した取組を行い、自ら学ぶ力を育成し、学力の向上につながるようにしたい。

【生徒指導・生活指導】（項目⑫～⑬）に関わって

「生徒指導」「生活指導」に関する5つの項目は全て【A】【B】評価100%という結果である。これは、日々先生方が一人一人に寄り添い、共感的・受容的な対応を心がけ、児童理解を徹底的に行っている成果である。しかし、本校を含め全国的には未だ「いじめ」「不登校」などの諸問題を根絶はできてはいない。これからの多様化・複雑化された社会を生きなくてはならない子ども達に、その礎となりうる力を与えるためにも高い使命感をもちこれからも指導していきたい。

【保護者・地域との連携】（項目⑭⑮）に関わって

「保護者や地域との連携」について、項目⑭は【C】【D】の否定的評価が33%であり、項目⑮においては14%と否定率が高かった。学校通信・学年通信・ホームページのアップなど定期的に情報発信は行っている。これは、職務内容的に保護者、地域との連携が難しい職員もいるが、やはりこの2年はコロナ禍である影響が大きい。通常なら各学年において地域の方を講師として迎えたり、地域の施設に出向いたりして学習活動行うのだが、これらが大きく制限されてしまった結果ではないか。コロナ禍の終息をいち早く願うのだが、こういう時だからこそ保護者や地域との連携を工夫していく必要がある。学校からの情報発信はなくてはならない。児童の学校での様子を知らせることや教師の思いを伝え共感してもらえることで協力が得られる。信頼される学校づくりのためにこれからも邁進したい。

【小中一貫教育】（項目⑯～⑳）に関わって

項目⑯～⑳は“橿形中学校区小中一貫校”として関わりがある項目である。それぞれの学校が特色を生かしながらも、一貫校として共通の理解を図りながら、児童生徒を育成することをねらいとしているので、今回の学校評価の評価項目の中に統一項目として含まれている。

項目⑯と⑳は新学習指導要領でも掲げられている「主体的・対話的で深い学び」の実現である。2つの項目とも【A】【B】評価90%以上という高い結果であった。コロナ禍での対話や深い学びの実現は厳しいように思えたが、対話でのルール作りやICTの活用、ワークシート、ホワイトボード、また、付箋の利用などの様々な工夫で、対話や深い学びの十分な取組が行われていた。これが高い評価を生み出している理由であろう。「主体的・対話的で深い学び」の実現こそが子ども達の確かな学力の獲得につながるので、今後も小中共通理解を図りながら取り組みたい。

最後の項目である「Slimpleプログラム」も【A】【B】評価92%という高い結果であった。否定的評価は【D】評価の8%であった。これは「Slimpleプログラム」は、学級担任が中心となり人間関係構築力を高める活動であるからであろう。回答結果から、目的を十分理解して取り組んでいることが表れている。学び合いにもつながる大切な“力”を育むものである。今後もしっかりとした取組で、互いに認め合うことができる児童の集団を育て、多くの学習に活かしてもらえることを願っている。

令和3年度 児童アンケート〔前期〕考察

〔1〕評価基準

全体傾向を把握するため、【A】【B】評価を肯定的評価とし、それらの合計が80%を超えている場合は『満足できる状態』と判断した。また、【C】【D】評価を否定的評価とし、それらの合計が20%を超えている場合は、『改善の余地がある状態』と判断した。

〔2〕全体的な傾向

上記の評価基準からすると、【A】【B】の合計が80%を超えている項目は、16項目中13項目であり、その内、8項目で90%以上の肯定的評価で、全体的には良好な結果が得られている。特に「⑤私は係や当番の仕事をやっている。」は、肯定的評価が96%と高く、働くことの大切さや責任ある行動への意識の高さがうかがえる。

逆に、【C】【D】評価に焦点を当ててみると、その割合が20%を超えている項目は、「⑧私は、家の人に学校のように話を話している。」「⑩私は、授業中に自分の考えを伝えている。」「⑮私は、早寝早起きをしている。」の3項目である。特に「⑩私は、授業中に自分の考えを伝えている。」は、否定的評価が36%と高く、改善に向けた取り組みが必要な項目である。

〔3〕結果の考察

【学校生活】（項目①～④）に関わって

①、②の項目は、90%以上の肯定的評価である。しかし、③、④項目の「相談できる友達や先生の存在」について、“いない”“わからない”と回答している児童が20%以上いる。学校生活において学習面や生活面等での悩みは、誰しもが持ち合わせているものである。ここで相談相手が“いる”“いない”では学校生活に大きな違いをもたらしてしまう。相談できる相手の存在は安心感を生む。全ての児童が安心した学校生活を送るためにも児童一人一人への声掛けを意識していきたい。

【確かな学力】（項目⑨～⑬）に関わって

「⑨私は、学校の授業が分かる。」「⑩私は、自分の考えをもって、他の人の話を聞いている。」の結果を見ると、どちらも92%の高い肯定的評価である。これは、「授業が分かる」ことは「聞くこと」がとても重要であるとう結果を表している。しかし、「⑩私は、授業中に自分の考えを伝えている。」では、否定的評価が36%と高い。これは“恥ずかしい”“発表の仕方が分からない”等いくつかの理由が考えられるが、新学習指導要領が目指す「主体的・対話的な深い学び」を追求するためにも授業改善を行い、子ども達の表現力を向上させていく必要があるだろう。

「⑫私は、家に帰ってから勉強をしている。」の結果は、93%と肯定的評価が高く、家庭学習の定着が見られる。日々の宿題や自主学習の取組が基礎基本を身につけ、学習意欲を向上させている。また家庭の協力体制も高評価につながり、今後も継続して家庭と連携してさらなる学力の向上を図りたい。

【豊かな心】（項目⑤⑥⑦⑬⑭）に関わって

楡形地区小中学校で取り組むことになっている「無言清掃」「靴そろえ」は、これまでも取り組んできた事であり、その肯定率からみても十分な評価といえる。来年度から小中一貫教育が始動するが、

楡形地区の児童，生徒全員が当たり前のこととして習慣化しているこの取組は，将来に向けた人間形成に大きな力となってつながっている。

「⑭私は，自分からあいさつしている。」については，肯定的評価が 88%と高い結果を得ている。日頃から，児童会活動の「あいさつ運動」や「小中連携あいさつ運動」等の定期的な取組が，全校児童に浸透しているからだと考えられる。「あいさつ」は誰でも出来る簡単なコミュニケーション方法だから，さらに肯定率を高めたい。

「⑮私は，本を読んでいる。」も 88%と肯定的評価が高く，日頃から本に親しんでいる児童が多いと分かる。読書は知識だけでなく心も豊かにしてくれるので，これからも読書教育の充実を図りたい。

【健やかな体】（項目⑮⑯）に関わって

「⑯私は，早寝早起きをしている。」の肯定的評価は 80%と合格点ではあるが，20%の否定的評価の児童は，十分な睡眠がとれていないと考えられ不安が残る。

睡眠は脳や体，また心の成長に大きく影響する。睡眠不足の大きな原因は，やはり情報端末普及の可能性が高い。それに触れている時間は多くなり，ゲーム等は始めたらなかなかやめることができず，睡眠不足は必然的であろう。言語発達の遅れ，集中力の低下，情緒面の問題，肥満の誘発等たくさんリスクが報告されている。早寝早起きは家庭での生活のあり方が大きく影響しているので，育ち盛りの児童に健やかな体の成長を遂げてもらうためにも，家庭への啓発が重要になってくる。「“早寝” “早起き” “朝ごはん”」への早急な改善が必要だと考えられる。

【その他】

[項目⑰⑱に関わって]

今回，児童については“携帯電話”“スマートフォン”についての所有率を調査してみた。

1年生：36%，2年生：33%，3年生：27%，4年生：48%，5年生：44%，6年生：59%である。傾向として，やはり高学年は所有率が高くなるということである。所有している中で，ルールが決められている率は63%であり，決まりがない家庭が37%である。

全国的に GIGA スクール構想の実現が進められている中，今年度，本市でも1人1台端末が整備された。全児童が情報端末に触れる機会が格段に増えてきている。これは，これからの時代を見据えて，全児童が情報端末を扱えるようになり，これからの社会を生き抜ける力を育むためのものである。気をつけなければならないことは，前述でも述べたが，便利な情報端末の使い方を間違えると，自らの成長を損ない，また大きなトラブルに巻き込まれてしまうということである。そのためにも学校と家庭が連携して，情報モラルを守るように啓発活動を積極的に進めていく必要があると考えられる。

教職員自己評価・調査項目

- ①あなたは、学校教育目標に基づき、学校や児童・生徒の実態に即した教育実践を行っていますか。
- ②あなたは、P（計画）D（実行）C（確認）A（改善）のサイクルで、教育活動の向上に努めていますか。
- ③あなたは、教職員間において報告・連絡・相談に努め、協力的な取り組みをしていますか。
- ④あなたは、危機管理（防犯・防災・事故等）マニュアルを理解し、指導していますか。
- ⑤あなたは、校務分掌で任された業務に積極的に取り組んでいますか。
- ⑥あなたは、校内研に主体的に関わっていますか。
- ⑦あなたは、諸会議に積極的に参加していますか。
- ⑧あなたは、教材・教具（ICT 機器を含む）を効果的に活用する授業を行っていますか。
- ⑨あなたは、児童・生徒が積極的に読書活動に取り組むよう指導していますか。
- ⑩あなたは、授業の始めに児童・生徒に授業のめあてを示していますか。
- ⑪あなたは、授業や単元の終わりに、児童・生徒がめあてを達成しているかを評価していますか。
- ⑫あなたは、児童・生徒理解のために、日頃から様々な方法でコミュニケーションを図っていますか。
- ⑬あなたは、諸問題（いじめ・不登校等）の早期発見・早期対応に努めていますか。
- ⑭あなたは、児童・生徒の規範意識や道徳性を育む指導に取り組んでいますか。
- ⑮あなたは、児童・生徒が進んであいさつするよう指導していますか。
- ⑯あなたは、特別支援教育の理念を理解し、個に応じた関りをしていますか。
- ⑰あなたは、学校の教育活動について、おたよりやホームページを通して保護者や地域に広
- ⑱あなたは、教育活動の中に地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かす指導を行っていますか。
- ⑲あなたは、対話を意識した学び合いを授業に取り入れていますか。
- ⑳あなたは、深い学びになるよう、課題や発問の工夫をしていますか。
- ㉑あなたは、Simple プログラムの目的意識を理解して、指導に取り組んでいますか。

児童アンケート・調査項目

- ①私は、学校が楽しい。
- ②私は、学校の決まりを守っている。
- ③私には、困ったことがあったら相談できる友だちがいる。
- ④私には、困ったことがあったら相談できる先生がいる。
- ⑤私は、係や当番の仕事をやっている。
- ⑥私は、無言清掃をやっている。
- ⑦私は、下駄箱のくつをそろえている。
- ⑧私は、家の人に学校のようすを話している。
- ⑨私は、学校の授業が分かる。
- ⑩私は、自分の考えをもって、他の人の話を聞いている。
- ⑪私は、授業中に自分の考えを伝えている。
- ⑫私は、家に帰ってから勉強をしている。
- ⑬私は、本を読んでいる。
- ⑭私は、自分からあいさつしている。
- ⑮私は、早寝早起きをしている。
- ⑯私は、朝ご飯を食べて登校している。
- ⑰私は、自分の携帯電話・スマートフォンを持っている。
- ⑱私の家では携帯電話・スマートフォンを使うときのルールがある。